

# Chapter 1 工業簿記&原価計算の基礎知識

---

---

問題

1

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

問題

2

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

## Chapter 2 業務執行的意思決定

---

---

### 問題 3

.....

問1

1	2	3

問2

①	②	③	④

### 問題 4

.....

① 埋没原価	円
② 製品Yを採用した場合の機会原価	円
③ 差額原価	円

### 問題 5

.....

(1)  円

(2) 注文を引き受けた場合、(  円)の差額利益が得られるので、  
注文を{  引き受ける  引き受けない }べきである。

(注) (  )内には適切な金額を記入し、{  }内の不要な語句を二重線で消しなさい。

## 問題 6

問1

注文を引き受けたほうが  円の { 差額利益  
差額損失 } が出るので、  
注文を引き受けるべきで { ある  
ない } 。

問2

注文を引き受けたほうが  円の { 差額利益  
差額損失 } が出るので、  
注文を引き受けるべきで { ある  
ない } 。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

## 問題 7

{ 内製  
購入 } するほうが原価を  円節約できるので、  
{ 内製  
購入 } すべきである。

(注) 不要な語句は二重線で消しなさい。

## 問題 8

問1

部品甲の年間必要量が  本以上であれば、内製すべきである。

問2

N S リース(株)に支払う年間リース料が  円未満であれば、  
内製すべきである。

問題 9

- 問1 製品甲  個 製品乙  個
- 問2 製品甲  個 製品乙  個
- 問3 営業利益  円

問題 10

製品Aを  個、製品Bを  個生産・販売したときに、  
営業利益が  円で最大になる。

問題 11

- 問1 製品M  円 製品N  円
- 問2  円
- 問3  時間
- 問4  個
- 問5 製品M  個 製品N  個
- 貢献利益  円
- 問6  円

## Chapter 3 設備投資の意思決定その1

---

---

### 問題 12

問1 1年後  円

2年後  円

3年後  円

問2  円

問3  円

### 問題 13

問1  %

問2  %

### 問題 14

問1

投資案 A の正味現在価値：  円

投資案 B の正味現在価値：  円

問2

投資案  のほうが有利である。

問題 15

問1  年

問2  年

問3  %

問題 16

問1 投資案A：  
正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。

投資案B：  
正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。

投資案C：  
正味現在価値は  千円で、 番目に有利な投資案である。

問2 投資案A：  
収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。

投資案B：  
収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。

投資案C：  
収益性指数は  で、 番目に有利な投資案である。

問題 17

問1 投資案  のほうが有利である。

問2 投資案  のほうが有利である。

問3

①	
②	
③	
④	
⑤	

問題 18

{ 設備投資案A } のほうが  千円有利である。  
 { 設備投資案B }

(注) { }内の不要な語句は二重線で消すこと。

問題 19

問1 加重平均資本コスト率  %

問2 正味現在価値  万円

問3 正味現在価値  万円

(注) 正味現在価値が0円未満になった場合は、金額の前に△を付すこと。

## Chapter 4 設備投資の意思決定その2

### 問題 20

問1

正味現在価値が  万円であるため、投資  $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right\}$ 。

問2

正味現在価値が  万円であるため、投資  $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right\}$ 。

(注)  $\{ \}$ 内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

### 問題 21

問1

正味現在価値が  万円であるため、投資  $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right\}$ 。

問2

正味現在価値が  万円であるため、投資  $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right\}$ 。

(注)  $\{ \}$ 内の不要な語句は二重線で消すこと。また、正味現在価値が負の値になった場合は、金額の前に△を付すこと。

### 問題 22

問1

(単位：万円)

現在	1年度	2年度	3年度

問2

新規設備に取り替える案の差額正味現在価値が  万円であるため、新規設備に取り替えるべきで  $\{ \text{ある} \quad \text{ない} \}$ 。



## 問題 23

A案の差額正味現在価値が  万円であるため、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{A案} \\ \text{B案} \end{array} \right\}$   
 を採用すべきである。

(注)  $\{ \}$  内の不要な語句は二重線で消しなさい。

## 問題 24

投資案の差額正味現在価値が  万円であるため、  
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{取り替えるべきである} \\ \text{取り替えるべきでない} \end{array} \right\}$ 。

## 問題 25

問1  千円

問2  千円

問3  千円

(注) キャッシュ・アウト・フローおよび正味現在価値の負の値については、金額の前に△を付すこと。

## Chapter 5 CVP分析

### 問題 26

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦		

### 問題 27

- 問1 損益分岐点販売数量  個  
損益分岐点売上高  円
- 問2 安全率  %
- 問3 目標営業利益額達成販売数量  個
- 問4 目標売上高営業利益率達成販売数量  個

### 問題 28

- 問1 損益分岐点売上高  円
- 問2 損益分岐点比率  %
- 問3 目標営業利益額達成売上高  円
- 問4 目標売上高営業利益率達成売上高  円

### 問題 29

- 問1 営業利益段階の損益分岐点販売数量  個
- 問2 経常利益段階の損益分岐点販売数量  個
- 問3 目標営業利益額達成販売数量  個

## 問題 30

問1 営業利益

 円

安全率

 %

問2 目標営業利益額達成販売数量

 単位

## 問題 31

① 製品Y :  個      製品Z :  個② 製品Y :  個      製品Z :  個③ 削減すべき固定費の金額  円

## 問題 32

問1  円問2 製品 $\alpha$  :  個      製品 $\beta$  :  個問3 製品 $\alpha$  :  個      製品 $\beta$  :  個

## 問題 33

損益分岐点販売数量  個損益分岐点売上高  円

## Chapter 6 直接原価計算

### 問題 34

全部原価計算による損益計算書		(単位：円)
売上高	( )	
売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
期末製品棚卸高	( )	( )
売上総利益	( )	
販売費・一般管理費	( )	
営業利益	( )	

直接原価計算による損益計算書		(単位：円)
売上高	( )	
変動売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
期末製品棚卸高	( )	( )
変動製造マージン	( )	
変動販売費	( )	
貢献利益	( )	
固定費		
製造原価	( )	
販売費・一般管理費	( )	
営業利益	( )	

## 問題 35

## 問1 全部原価計算による損益計算書

<u>損益計算書</u>		(単位：円)
I 売上高		( )
II 売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
期末製品棚卸高	( )	( )
売上総利益		( )
III 販売費・一般管理費		( )
営業利益		( )

## 問2 直接原価計算による損益計算書と固定費調整

<u>損益計算書</u>		(単位：円)
I 売上高		( )
II 変動売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合計	( )	
期末製品棚卸高	( )	( )
変動製造マージン		( )
III 変動販売費		( )
貢献利益		( )
IV 固定費		
製造原価		( )
販売費・一般管理費		( )
直接原価計算の営業利益		( )
期末棚卸資産に含まれる固定製造原価		
期末仕掛品固定費	( )	
期末製品固定費	( )	( )
期首棚卸資産に含まれる固定製造原価		
期首仕掛品固定費	( )	
期首製品固定費	( )	( )
全部原価計算の営業利益		( )

問題 36

<u>固定費調整表</u>		(単位：円)
直接原価計算の営業利益		( )
期末仕掛品固定費	( )	
期末製品固定費	( )	( )
期首仕掛品固定費	( )	
期首製品固定費	( )	( )
全部原価計算の営業利益		<u>( )</u>

問題 37

<u>損益計算書</u>		(単位：円)
I 売上高		( )
II 変動売上原価		
期首製品棚卸高	( )	
当期製品製造原価	( )	
合 計	( )	
期末製品棚卸高	( )	( )
変動製造マージン		( )
III 変動販売費		( )
貢献利益		( )
IV 固定費		
製造原価		( )
販売費および一般管理費		( )
営業利益		<u>( )</u>

〔固定費調整〕

直接原価計算 による営業利益	+ 期末棚卸資産 に含まれる 固定加工費	- 期首棚卸資産 に含まれる 固定加工費	= 全部原価計算 による営業利益
( ) 円)	( ) 円)	( ) 円)	( ) 円)

## 問題 38

全部標準原価計算による損益計算書 (単位：円)

I	売 上 高	( )
II	標準売上原価	( )
III	標準原価差異	( )
	売上総利益	( )
IV	販売費および一般管理費	( )
	営業利益	( )

直接標準原価計算による損益計算書 (単位：円)

I	売 上 高	( )
II	標準変動売上原価	( )
	変動製造マージン	( )
III	標準変動販売費	( )
	標準貢献利益	( )
IV	標準変動費差異	( )
	実際貢献利益	( )
V	固 定 費	
	製 造 原 価	( )
	販売費および一般管理費	( )
	営業利益	( )

直接標準原価計算による損益計算書 (単位：円)

I	売 上 高	( )
II	標準変動売上原価	( )
	変動製造マージン	( )
III	標準変動販売費	( )
	標準貢献利益	( )
IV	標準変動費差異	( )
	実際貢献利益	( )
V	固 定 費	
	製 造 原 価	( )
	販売費および一般管理費	( )
	直接原価計算の営業利益	( )
	期末棚卸資産に含まれる固定費	( )
	期首棚卸資産に含まれる固定費	( )
	全部原価計算の営業利益	( )



## 問題 40

<u>直接標準原価計算による損益計算書</u>		(単位：円)
I	売上高	( )
II	標準変動売上原価	( )
	変動製造マージン	( )
III	標準変動販売費	( )
	標準貢献利益	( )
IV	標準変動費差異	
1	材料消費価格差異	( )
2	材料消費数量差異	( )
3	賃率差異	( )
4	作業時間差異	( )
5	予算差異	( )
6	変動費能率差異	( )
7	変動販売費差異	( )
	実際貢献利益	( )
V	固定費	
	製造原価	( )
	予算差異	( )
	販売費および一般管理費	( )
	営業利益	( )

## Chapter 7 予算編成と予算統制

### 問題 41

予定損益計算書 (単位：円)		予定貸借対照表 (単位：円)	
売上高 ( )		現金 ( )	借入金 ( )
標準変動売上原価 ( )		製品 ( )	未払利息 ( )
標準変動販売費 ( )		材料 ( )	
標準貢献利益 ( )			
固定費 ( )			
予算営業利益 ( )			
支払利息 ( )			
予算経常利益 ( )			

### 問題 42

営業利益差異分析表

(1) 売上高差異	<input type="text"/>	円 ( )
販売価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
売上高数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(2) 変動売上原価差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(3) 変動販売費差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
(4) 固定製造間接費差異	<input type="text"/>	円 ( )
(5) 固定販売費差異	<input type="text"/>	円 ( )
(6) 固定一般管理費差異	<input type="text"/>	円 ( )
営業利益差異	<input type="text"/>	円 ( )

(注) ( )内には、有利差異であれば「有利」、不利差異であれば「不利」と記入すること。

## 問題 43

## 営業利益差異分析表

(1) 販売価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
(2) 変動費差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動売上原価価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
変動販売費価格差異	<input type="text"/>	円 ( )
(3) 貢献利益数量差異	<input type="text"/>	円 ( )
貢献利益差異	<input type="text"/>	円 ( )
(4) 固定費差異	<input type="text"/>	円 ( )
営業利益差異	<input type="text"/>	円 ( )

(注) ( )内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」と記入すること。

## 問題 44

## 営業利益差異分析表

予算営業利益	<input type="text"/>	千円
販売価格差異	<input type="text"/>	千円 ( )
販売数量差異	<input type="text"/>	千円 ( )
変動費差異	<input type="text"/>	千円 ( )
固定費差異	<input type="text"/>	千円 ( )
実際営業利益	<input type="text"/>	千円

(注) ( )内には、有利差異であれば「F」、不利差異であれば「U」と記入すること。

**問題 45** .....

	市場占拠率差異	市場総需要量差異
問 1	円( )	円( )
問 2	円( )	円( )

(注)有利差異であれば( )内に「有利」と、不利差異であれば( )内に「不利」と記入すること。

**問題 46** .....

問 1

	セールス・ミックス差異	数量差異
製品 R	円	円
製品 W	円	円

問 2

	セールス・ミックス差異	数量差異
製品 R	円	円
製品 W	円	円

**問題 47** .....

①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤		⑩	

## 問題 48

	腕時計	置時計
セールス・ミックス差異	円( )	円( )
市場占拠率差異	円( )	円( )
市場総需要量差異	円( )	円( )